

## 那智勝浦町立温泉病院改革プラン取組状況について

当院では、深刻な医師不足により平成18年度から経常損益において、赤字状態が続いているところですが、平成20年度より和歌山県立医科大学のご協力により、スポーツ温泉医学研究所の開設とともに常勤医師の派遣をいただき、常勤医師数は10名にまで復活しました。改革プランでは、平成20年度から平成23年度までを計画期間と定め、平成22年度を経常損益黒字化達成年度としております。平成21年度につきましては、和歌山県のドクターバンク医師派遣制度により、常勤医師を1名増員できたこと等により、プランよりも1年前倒しで経常損益黒字化を達成することができました。

### 財務に係る数値目標と実績

項目	目標値	達成予定年度	H20実績	H21目標	H21実績
①経常収支比率	100%以上	H22	97.4%	99.4%	100.8%
②職員給与比率	57%未満	H21	58.9%	56.1%	56.3%
③病床利用率	80%以上	H23	70.6%	76.7%	73.2%
④平均在院日数	21日以下	常時	19.8日	21.0日	20.8日
⑤医業収支比率	95%以上	H23	91.3%	94.0%	94.6%
⑥入院患者一人一日平均収入					
一般病棟	28,000円以上	H22	27,482円	27,803円	28,971円
療養型	12,500円以上	H22	12,033円	12,452円	13,452円
⑦外来一日平均患者数	265人以上	H23	234.8人	250.0人	224.3人
⑧外来患者一人一日平均収入	13,500円以上	H22	13,285円	13,499円	13,609円

### 医療機能に係る数値目標と実績

項目	目標値	達成予定年度	H20実績	H21目標	H21実績
①時間外救急搬送による患者数	年間400件以上	常時	530件	400件	557件
	月平均33.3件以上		44.2件	33.3件	46.4件
②手術件数	年間200件以上	H23	127件	100件	107件
	月平均16.7件以上		11件	8件	9件

### その他

項目	目標値	達成予定年度	H20実績	H21目標	H21実績
常勤医師数	13人	H23	10人	10人	11人
経常損益		H22に黒字化	△57百万円	△13百万円	15百万円

### 公立病院改革プランにおける「数値目標達成に向けての取り組み」について

医師確保対策について、平成21年度9月より和歌山県ドクターバンク医師派遣制度によりリハビリテーション科医師を1名増員することができました。併せて医療技術員の増員等リハビリテーション部門を充実した結果、患者数とともに診療報酬も増収となり、結果改革プランよりも1年前倒しで、経常損益黒字化を達成することができました。

### 公立病院改革プランにおける「再編・ネットワーク化」に係る計画について

新宮保健所を中心に新宮保健医療圏体制検討会を設置し、医療圏における医療ネットワーク化について協議をすすめております。当院においても、地域医療連携室を設置し、近隣病院との連携を図っております。

### 今後の課題について

医師確保については、平成21年度9月以降11名にまで増員することができ、収支においても一定の成果を上げることができましたが、医師の高齢化並びに専門医不足の問題は解消されておらず、引き続き重要な課題となっております。一方で、老朽化が問題となっております病院施設につきましては、平成23年度から新病院建設事業費が予算化され、新年度より事業を進めていく予定となっております。地域医療をとりまく現状は、依然きびしい状況が続いているところですが、地域における公立病院としての役割を果たすべく、努力していく所存であります。

(別紙)

団体名 (病院名)	那智勝浦町立温泉病院
--------------	------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度			21年度			22年度	23年度
		(プラン)	(実績)	差引	(プラン)	(実績)	差引	プラン	プラン
収	1. 医 業 収 益 a	1,683	1,696	13	1,846	1,759	△87	1,896	1,960
	(1) 料 金 収 入	1,598	1,606	8	1,752	1,668	△84	1,800	1,862
	(2) そ の 他	85	90	5	94	91	△3	96	98
	うち他会計負担金	43	47	4	43	41	△2	43	43
	2. 医 業 外 収 益	153	150	△3	158	160	2	166	172
	(1) 他会計負担金・補助金	147	143	△4	151	153	2	159	165
	(2) 国(県)補助金			0		1	1		
入	(3) そ の 他	6	7	1	7	6	△1	7	7
	経 常 収 益 (A)	1,836	1,846	10	2,004	1,919	△85	2,062	2,132
	1. 医 業 費 用 b	1,879	1,858	△21	1,964	1,860	△104	2,003	2,058
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,006	1,000	△6	1,036	990	△46	1,069	1,101
	(2) 材 料 費	476	462	△14	513	481	△32	526	548
	(3) 経 費	320	319	△1	336	311	△25	339	341
	(4) 減 価 償 却 費	72	72	0	71	71	0	62	59
出	(5) そ の 他	5	5	0	8	7	△1	7	9
	2. 医 業 外 費 用	48	45	△3	53	44	△9	52	53
	(1) 支 払 利 息	9	8	△1	10	7	△3	8	7
	(2) そ の 他	39	37	△2	43	37	△6	44	46
	経 常 費 用 (B)	1,927	1,903	△24	2,017	1,904	△113	2,055	2,111
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△91	△57	34	△13	15	28	7	21
	1. 特 別 利 益 (D)			0			0		
特別損益	2. 特 別 損 失 (E)	2	1	△1	2	2	0	2	2
	特別損益(D)-(E) (F)	△2	△1	1	△2	△2	0	△2	△2
純 損 益 (C)+(F)	△93	△58	35	△15	13	28	5	19	
累 積 欠 損 金 (G)	341	306	△35	356	293	△63	288	269	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	460	499	39	469	541	72	502	559
	流 動 負 債 (イ)	102	102	0	308	100	△208	310	313
	うち一時借入金			0	200		△200	200	200
	翌年度繰越財源(ウ)			0			0		
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額			0			0		
	不良債務差引			0			0		
	[(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ) (オ)	△358	△397	△39	△161	△441	△280	△192	△246
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	102	63	△39	197	△44	△241	249	△54	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.3	97.0	1.7	99.4	100.8	1.4	100.3	101.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{(ア)} \times 100$	△21.3	△23.4	△2.1	△8.7	△25.1	△16.4	△10.1	△12.6	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.6	91.3	1.7	94.0	94.6	0.6	94.7	95.2	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	59.8	58.9	△0.9	56.1	56.3	0.2	56.4	56.2	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 (H)	△358	△397	△39	△161	△441	△280	△192	△246	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	△21.3	△23.4	△2.1	△8.7	△25.1	△16.4	△10.1	△12.6	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	△21.3	△23.4	△2.1	△8.7	△25.1	△16.4	△10.1	△12.6	
病 床 利 用 率	70.6	70.6	0.0	76.7	73.2	△3.5	76.7	80.0	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	那智勝浦町立温泉病院
--------------	------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位: 百万円、%)

区分	年度	20年度			21年度			22年度	23年度
		プラン	(実績)	差引	(プラン)	(実績)	差引	(プラン)	(プラン)
収入	1. 企業債			0	28	25	△3	25	55
	2. 他会計出資金			0			0		
	3. 他会計負担金			0	26	26	0	18	12
	4. 他会計借入金			0			0		
	5. 他会計補助金			0			0		
	6. 国(県)補助金			0			0		
	7. その他			0			0		
	収入計 (a)	0	0	0	54	51	△3	43	67
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			0			0		
	前年度許可債で当年度借入分 (c)			0			0		
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	0	0	0	54	51	△3	43	67	
支出	1. 建設改良費	39	34	△5	50	39	△11	40	70
	2. 企業債償還金	44	44	0	59	58	△1	40	25
	3. 他会計長期借入金返還金			0			0		
	4. その他			0			0		
支出計 (B)	83	78	△5	109	97	△12	80	95	
差引不足額 (B)-(A) (C)	83	78	△5	55	46	△9	37	28	
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	81	76	△5	53	44	△9	35	25
	2. 利益剰余金処分量			0			0		
	3. 繰越工事資金			0			0		
	4. その他	2	2	0	2	2	0	2	3
計 (D)	83	78	△5	55	46	△9	37	28	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)			0			0			
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位: 千円)

	20年度			21年度			22年度	23年度
	(プラン)	(実績)	差引	(プラン)	(実績)	差引	(プラン)	(プラン)
収益的収支	(86,352)	(98,625)	(12,273)	(86,352)	(116,490)	(30,138)	(91,632)	(100,992)
	190,000	190,000	0	194,000	194,000	0	201,683	207,731
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	26,000	26,000	0	18,317	12,269
合計	(86,352)	(98,625)	(12,273)	(86,352)	(116,490)	(30,138)	(91,632)	(100,992)
	190,000	190,000	0	220,000	220,000	0	220,000	220,000

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。